



# 高小だより

津市立高茶屋小学校

令和2（2020）年7月

文責：校長 石川 昌弘

## 「新しい生活様式」

自分の38年間にわたる長い教員生活で、春の遠足も中止、水泳指導も中止、授業参観やPTA総会も中止・・・など、いろいろな行事がないことは、初めてのことで大変戸惑っています。

子どもたちや保護者の皆さんは、もっと戸惑いの連続だろうと思います。特に1年生は、いろいろなことを楽しみにして入学してきたと思います。他の学年の子どもたちも、楽しい遠足などの行事が中止となり、マスクをつけての学習やソーシャルディスタンスを守り、3密を避けての「新しい生活様式」での学校生活は、自分たちや周りの人たちの命を守る行動ですので仕方ありませんが、何だかスッキリしませんね。

早く、普段通りに近い生活に戻れるようにと心から願っています。

今後も、津市教育委員会の指示や地域や周りの状況を見ながら、こういった状況のなか、子どもたちが充実した学校生活を送れるように、学習指導は勿論、様々な教育活動などを考えていきたいと思っています。保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします。



## 算数科の少人数授業について・・・

本校では、3年生以上の算数科で少人数授業を取り入れて、よりきめ細やかな教育を進めています。具体的には、単元によって通常の3学級(5年生は2学級)を4クラスに分けることで、よりきめ細やかな指導・支援、そして学習内容の子どもたちへのより深い理解につなげたいと考えています。学習内容はどのコースも同じですが、指導方法や授業の進め方を工夫しながら3コース4教室に分かれて授業を行います。



- 学習内容が理解できるようにじっくり学習するコース
- 学習したことがしっかり身につくように練習問題を繰り返し行うコース
- 学習したことをもとに、自分の考えや意見を発表することで自力解決できるようにするコース

子どもたちの理解度を重視し、希望等も考慮しながらコース分けを行いたいと思っています。ご理解ご協力のほどをよろしくお願いします。

## 避難訓練

6月5日に「地震が起きて、その後、給食室から出火した」という想定で避難訓練を行う予定でしたが新型コロナウイルス感染症対策で全校での訓練は中止としました。

新型コロナウイルス感染症の話題でかすみがちですが、災害はいつ起きるかわかりませんし、待ってくれません。そこで、各学年、各クラス単位で、地震や火事が起きたときどうするかを指導し、避難経路の確認をしました。

学校で地震が起きたときは先生たち大人がいるので、避難誘導や無事の確認ができますが、家にいるときや登下校の時に地震が起きたときはどうしたらよいでしょうか。学校でも家でも登下校中でも、もし災害が起きたときは、「自分の身は自分で守る」ことを第一に考えて避難してほしいと思います。



- 登下校時に地震が起きたら、まず「自分の頭を守ること」を意識して、ランドセル等で頭部を守る。
- ガラスや電線、瓦、ブロック塀など地震の揺れで上から落ちてくるものや自分の方に向かって倒れてくるものがないかあたりを見回して注意する。
- 自動販売機や電柱など普段は倒れるわけがないと思われるものも倒れてくる可能性があるため、これらのそばから離れる。
- 地震の揺れが収まったら、自分の頭を守り、落下物や倒壊してくるものがないか注意しながら、安全な場所に避難する。
- 登下校中に地震が起きたら、原則、学校か家か近いほうに避難する。



日頃から、ご家庭でも、通学路の一時避難するのに安全な場所をチェックしたり、子どもたちが一人にいるときに地震などの災害が起きたらどうしたらよいかを話し合ったりしておいてください。

### お知らせ

今年度は、例年と比べると短い夏季休業日（8月1日～16日）ですが、8月11日（火）から14日（金）は、津市内の全ての公立小中学校で校務休止となり、学校は閉鎖されます。

なお、この期間において、学校への緊急の連絡等が生じた場合は、津市教育委員会事務局学校教育課（電話229-3244）へ連絡いただきますようお願いいたします。